



# STEP PROJECT

Professional	商品開発	使いやすくて快適な幼児用グッズや赤羽北桜高等学校オリジナル商品やアプリ開発の研究。キッズデザイン賞に挑戦	
		<p>【探究活動等アドバイザーからの御意見や御感想 など】</p> <p><b>蓑口 和美様</b> (写真右) (キャリアコンサルタント(国家資格))</p> <p>今回の「探究活動」、限られた時間の中で全てを手探りで進めてきました。商品企画の基本的な流れや企画を進めるために重要なことなど、学んで貰えたと思います。試作品まで進んだ生徒も、形にまでできなかった生徒も普通の授業では経験しない大変さを味わったことでしょうか自分で考え、選択し、行動する、の繰り返しでした。今後、進路についてもそうですし、社会に出てからも自分で考えて決断し進んでいかなければなりません。今回の学びや経験が今後の生徒達の 一助となったら嬉しいです。</p>	
<p><b>白石 佳子様</b> (写真左) (ベビーグッズコンシェルジュ)</p> <p>商品を開発するには乳幼児の行動を知って、母親や保育者の気持ちに寄り添わないとできませんから、一連の作業の中で生徒の皆さんが目指している仕事を、別の角度から知ることができたと思います。今回は時間が少なかったため、</p>		<p>ファーストサンプルあるいは、商品機能イラストを作るところまでしか終わりませんでした。今後も開発を進めていただき、納得できる商品に完成させられたらいいですね。</p> <p>商品開発は講義を受けるだけでなく自ら行動しないと進まないの、生徒の皆さんにとっては初めての活動も多くたくさん悩まれたと思いますが、その一方で、主体的に動くことで得られた達成感も学んだのではないのでしょうか。最終的に自分が考案した商品を皆さんの前でプレゼンできたということに自信にして、将来の進学や就職に進んでいただけたらと期待しています。</p>	
<p>【参加生徒からの感想 など】</p> <p>頑張ってください。なんかいも悩んで進まなかったことがあったんですが、そんなとき提案して下さったり、自分の意見に対してすごく肯定して下さいモチベーションを保ちながら頑張ることができました。本当にありがとうございます。短い期間で商品を1から開発するのはとても大変だったけど嬉しいことも沢山あってとても充実した半年間でした。ありがとうございました。今回の授業を通してアプリ開発に挑戦できたという経験は、他の高校生には無い強みになると思います。今までご指導頂き、ありがとうございました。商品開発は触れたことがひとつもなかったものだったのでとても難しかったけど終わった時にはとてもやりがいがあって楽しかったなと思いました。講師の先生方には迷惑をかけてしまうことばかりだったけど、最後すべてをまとめた発表を生で見させていただくことができて良かったです。ありがとうございました。</p>			
<p><b>第1回</b> 来校(対面) 9月26日(月)</p>	<p>【オリエンテーション】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自己紹介</li> <li>② 商品開発フローを説明し、研究活動概要を確認する。</li> <li>③ キッズデザイン賞について説明</li> <li>④ 市場調査の目的と内容を考え次回までに実施する市場調査が分かる。→調査は次の授業までに実施</li> </ol>	<p><b>第6回</b> 来校(対面) 11月21日(月)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 1st サンプルを見て修正点を確認し、修正方法を導く。</li> <li>② 中間発表の準備として、商品開発の経過をパワーポイントにまとめる。</li> </ol>
<p><b>第2回</b> 来校(対面) 10月17日(月)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 調査内容の共有(グループ内で各自が調べた情報を共有)</li> <li>② 今後の流れや段取りの確認(リポートづくりにつながることを説明)</li> <li>③ 保育園リサーチ準備(調査項目を洗い出し、絞り込む)</li> </ol>	<p><b>第7回</b> 来校(対面) 11月28日(月)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 中間発表を行う。</li> <li>② 2nd サンプルで乳幼児にモニター調査するための準備をする →次回の授業までにモニター調査しておく。</li> </ol>
<p><b>第3回</b> 来校(対面) 10月24日(月)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 保育園リサーチ内容を共有(グループ内で聞き取った情報を共有)</li> <li>② プレインストーミングの実施→書き出した付箋を類似内容でグループ/全グループごとにリポートをつける。</li> </ol>	<p><b>第8回</b> 来校(対面) 1月16日(月)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① モニター調査から出た不具合を整理し発表共有する。</li> <li>② 最終品のデザインや生地仕様、カラーなどを考える。</li> <li>③ 最終発表に向けて、生徒が市場調査結果やモニター調査結果をレポートにまとめるよう説明する→次回までにレポート完成しておく。</li> </ol>
<p><b>第4回</b> 来校(対面) 11月7日(月)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 開発しようと考えた商品についてイラストを用いて説明してもらう。</li> <li>② 安全性への配慮について説明し、試作制作の前提を確認する。</li> <li>③ 試作に必要な部材を考えてリストにしてもらう→次回までに用意しておく。</li> </ol>	<p><b>第9回</b> 来校(対面) 1月23日(月)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 最終発表に向けて、試作品の完成とパワーポイントにまとめるよう指示。まとめ方に関する質問に回答する。</li> </ol>
<p><b>第5回</b> 来校(対面) 11月14日(月)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 被服実習室にて試作→次回までに1st サンプルを完成させておく</li> </ol>	<p><b>第10回</b> 来校(対面) 1月30日(月)</p>	<p>(最終まとめに向けた取り組み)</p>
<p>成果発表 令和5(2023)年2月27日(月) 大視聴覚教室</p>			